

令和5年度（第40期）

事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

公益財団法人 仁泉会

I	概況	3
II	運営施設の事業報告		
1	北福島医療センター	7
2	保原中央クリニック	14
3	梁川病院	16
4	プライムケア桃花林	18
5	あぶくま訪問看護ステーション	21
6	あぶくまヘルパーステーション	23
7	あぶくまケアプランステーション	24
8	伊達市保原地域包括支援センター	25
III	参考資料		
1	法人概要	28
2	沿革	29
3	組織図	31
4	評議員・役員・会計監査人の状況	32
5	職員の状況	

令和5年度公益財団法人仁泉会事業報告

I 概況

令和5年度は、創設者である佐藤喜一前理事長が4月12日に逝去され、深い悲しみを抱えつつ、翌日4月13日より木村秀夫理事長の新体制でスタートいたしました。

新型コロナウイルス感染症は5月8日より感染症法上の5類に移行され、社会経済活動の正常化が進み、通常の医療体制で対応することとなりましたが、引き続き、換気、手洗い、手指消毒やマスクの着用等、基本的な一定の感染防止対策を講じながらの運営を行いました。

財務状況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、入院患者や外来患者が減少したことで一部医業収益は減少しましたが、災害等にも見舞われず、各事業所が正常運営できたことから、医業収益は前年度比34,747千円増加しました。また、医業費用は、経費削減等に努めたことから前年度比66,418千円減少しました。その結果、経常利益は282,512千円、当期利益は281,570千円を計上し、7期連続黒字計上することができました。しかし、新型コロナウイルス感染症関連の補助金受領の減少により、令和5年度は前年度比減収減益の決算となりました。

建物の老朽化が進み、北福島医療センターへの機能統合について検討を進めていた梁川病院については、令和4年度中に立ち上げたプロジェクトチームを中心として閉院に伴う受入体制の整備を進めるとともに、予想された猛暑下における迅速安全な入院患者の搬送についてシミュレーションを重ね、7月31日に伊達地方消防組合様にご協力いただきながら滞りなく完了することが出来ました。旧梁川病院における医療療養病床50床を8月1日から北福島医療センターで引き継ぎ、急性期から慢性期を担うことで、高齢化が進む県北地域のニーズに応えられるような医療の提供体制を構築することが可能となりました。

10月29日には、令和4年3月の福島県沖地震以降通行止めとなり、迂回を余儀なくされていた伊達橋が1年7ヵ月ぶりに仮橋開通となりました。路線バスも本来のルートに戻り、救急搬送や患者さんの通院、職員の通勤等、北福島医療センターへのアクセスが正常化されたことは大変喜ばしいニュースでした。

12月1日より福島医大主任教授2名を参与に迎えました。新築移転を念頭に、県北医療圏における医療提供体制の将来像を見据え、住民に寄り添った地域医療の実現に向けた組織づくりに注力するため、運営体制の強化と福島医大との更なる連携強化を進めました。

働く職員の子育て支援を目的として、昭和44年に開設された企業内保育所「わんぱくらんど」を3月末で閉所しました。ピーク時には、0歳から就学前までの70名近い職員のお子さんを保育していましたが、少子化や無償化、自治体による認定こども園の整備等により利用者が減少したため、一定の役割を終えたと判断し、50有余年の歴史に幕を閉じました。

北福島医療センターの新築移転計画は、5月に施工業者の選定を行い不調となりましたが、引き続き、専門家を交えながら開設準備室を中心として、計画の実現化に向けた課題の検討に取り組みました。金利の上昇や世界的資源高による建築費高騰を踏まえ、医療機器をはじめとする設備の導入や更新については、必要性や緊急性を十分に検討し、管理職を中心とした経営意識の向上を図るとともに、総事業費を見据えた資金計画の精査と策定を行いました。

法人全体の収益の70%近くを占める北福島医療センターを中心とした収益確保に向けて、各事業所管理者の舵取りを支えてまいりました。また、医療人材不足が顕著である中、働く職員に寄り添い、働きやすい環境を整えることで離職防止対策を徹底し、質の高い医療と介護の提供を支えるスタッフの安定した確保と育成を進めました。専門職採用に向けたプロジェクトチームを発足させ、採用に繋げる具体的計画を策定し、新病院に向けた人員の確保を行いました。また、職員のメンタルヘルスをサポートするための外部専門員による相談窓口を開設し、職員の相談に対応しています。

目の前の計画を確実に実行するため、今後とも「人材育成」「覚悟と連帯感」の醸成を進め、持続可能で変化に対応できる組織力を目指し、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。

1. 理事会の開催

- | | | | |
|---|------|--------------|-------------------------|
| ① | 期 日 | 令和5年4月13日(木) | 書面決議 |
| | 議 案 | 報告事項 第1号報告 | 佐藤喜一理事長の退任について |
| | | 決議事項 第1号議案 | 代表理事の選任について |
| ② | 期 日 | 令和5年6月13日(火) | |
| | 議 案 | 決議事項 第1号議案 | 令和4年度(第39期)事業報告について |
| | | 第2号議案 | 令和4年度(第39期)決算報告について |
| | | 第3号議案 | 評議員の推薦について |
| | | | 任期満了に伴う評議員の改選について |
| | | 第4号議案 | 任期満了に伴う会期監査人の改選について |
| | | 第5号議案 | 重要な使用人の選任について |
| | | 第6号議案 | 評議員会の開催(招集)について |
| | 報告事項 | 第1号報告 | 施工業者の選定について |
| | | 第2号報告 | 梁川病院閉院について |
| | | 第3号報告 | 評議員の辞任について |
| ③ | 期 日 | 令和5年9月15日(金) | 書面決議 |
| | 議 案 | 決議事項 第1号議案 | 公益財団法人仁泉会 職務権限規程の制定について |
| | | 第2号議案 | 看護職及び介護職員の定年年齢の引上げについて |
| | | 第3号議案 | 事業所内保育所「わんぱくらんど」について |

- ④ 期 日 令和5年11月29日(水)
 議 案 報告事項 第1号報告 令和5年度(第40期)上半期業績報告について
 第2号報告 新築移転計画の進捗について
 第3号報告 新築移転計画に関する資金調達について
 第4号報告 北福島医療センター参与について
- ⑤ 期 日 令和6年2月16日(金) 書面決議
 議 案 決議事項 第1号議案 評議員会の開催(招集)について
- ⑥ 期 日 令和6年3月19日(火)
 議 案 報告事項 第1号報告 新築移転計画の進捗について
 決議事項 第1号議案 令和6年度(第41期)事業計画(案)について
 第2号議案 令和6年度(第41期)収支予算(案)について
 第3号議案 就業規則の改定(案)について

2. 評議員会の開催

- ① 期 日 令和5年6月27日(火)
 議 案 決議事項 第1号議案 令和4年度(第39期)事業報告について
 第2号議案 令和4年度(第39期)決算報告について
 第3号議案 評議員の選任について
 第4号議案 会計監査人の選任について
 報告事項 第1号報告 施工業者の選定について
 第2号報告 梁川病院閉院について
 第3号報告 重要な使用人の選任について
 第4号報告 評議員の辞任について
 第5号報告 合同葬にかかる費用負担について
- ② 期 日 令和6年3月19日(火)
 議 案 報告事項 第1号報告 新築移転計画の進捗について
 決議事項 第1号議案 令和6年度(第41期)事業計画(案)について
 第2号議案 令和6年度(第41期)収支予算(案)について
 第3号議案 就業規則の改定(案)について

3. 法人経営会議の開催

令和5年度 計7回開催

内 容 経営に関する重要事項の決定、理事会に上程すべき経営事項の検討及び決定等

- ① 期 日 令和5年5月18日(木)

- 議 事 令和5年度夏季賞与（案）について
- ② 期 日 令和5年6月27日（火）
- 議 事 5等級から6等級への昇級手順について
- ③ 期 日 令和5年7月31日（月）
- 議 事 (1) 職務権限規程（案）について
(2) 仁泉会稟議規程（案）について
- ④ 期 日 令和5年8月23日（水）
- 議 事 (1) わんぱくらんどの現状と今後について
(2) 看護・介護職員の定年年齢の引上げについて
(3) 職務権限規程の制定に伴う関係規程の改正について
- ⑤ 期 日 令和5年10月24日（火）
- 議 事 (1) 令和5年度冬季賞与（案）について
(2) 新しい休暇制度の導入について
(3) ハラスメント防止に関する規程の改正について
(4) 新病院建設に伴う資金調達について
- ⑥ 期 日 令和5年11月21日（火）
- 議 事 (1) 契約職員等の雇用契約更新時の勤務評価について
(2) わんぱくらんど職員の処遇について
- ⑦ 期 日 令和6年3月12日（火）
- 議 事 (1) 令和6年度事業計画（案）について
(2) 令和6年度収支予算（案）について
(3) 就業規則の改定（案）について

II 運営施設の事業報告

1 北福島医療センター（令和6年3月31日現在）

(1) 事業報告

令和5年度の事業活動につきまして報告をいたします。5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、数年ぶりに社会活動が正常化へと向かう大きな節目を迎えました。

- ① 乳腺外科や血液内科、消化器外科の専門診療科領域において化学療法や手術によるがん医療の推進を図りました。8月には梁川病院の統合により医療療養病棟の運営を開始しました。これにより急性期、回復期リハビリテーション、医療療養の病棟構成とし、地域医療を支える伊達市唯一の中核病院として更なる歩みを進めています。
- ② 新型コロナウイルス感染症への対応については、自治体と連携して行った発熱外来を5月8日に終了し、ワクチン接種も院内外での対応を継続後、同年12月末に終了いたしました。また、院内での対応については、新型コロナウイルス感染症対策会議を毎週開催し、市中の感染状況を見極めながら、これまでの感染対策の継続と緩和のバランスについて協議・検討を行い対応してまいりました。結果として、令和5年度は、院内においてクラスターを発生させることなく運営を行えたことは、職員一丸となって感染防止対策に取り組んだ成果でもあり、重点医療機関の果たすべき役割を担うことができたと考えています。
- ③ 10月末には、令和4年3月に発生した福島県沖地震以降通行止めとなっていた伊達橋が1年7ヵ月ぶりに開通したことより、当院の役割でもある「地域医療」、「がん治療」、「CT、MRIなどの高度検査機器」、「医療療養病棟」について連携している医療機関への説明をあらためて行い、紹介患者の受入について進めています。
- ④ 福島県立医科大学より専攻医の受入れをおこなっています。また、看護師の特定行為実習への協力等、専門職の育成に貢献しています。感染症への取り組みなどを地域の医療介護関係従事者へ情報発信を行い、感染防止対策の向上に寄与しました。
- ⑤ 伊達地方病院群輪番制を担う救急指定病院として、伊達地域のみならず福島市とも連携を図りました。また、輪番制協議会を開催し、関係機関からの意見・要望などを参考にしながら救急体制の維持に努めましたが、さらなる救急受け入れ件数の増加に向けて、院内での検討を重ねてまいります。
- ⑥ 令和6年4月より開始となる医師の働き方改革に伴い、宿直許可が認められました。今後、医師、看護師、コメディカル等、業務領域の選別や協働などタスクシフトを進め、職員の働く環境の改善を進めてまいります。
- ⑦ 新築移転計画については、開設準備室会議を中心に進めております。国際的に不安定な情勢や、円安の加速による建築費高騰等の厳しい状況にありますが、新築移転計画を推し進めるべく、業績の改善を最重要課題として引き続き運営を進めてまいります。

(2) 診療実績

① 入院・外来の概要 ＊病床稼働率の算出は、宿泊ドック及び退院数を除く入院患者延数で算出

入院概要			外来概要		
項目	令和5年度	令和4年度	項目	令和5年度	令和4年度
入院患者延数 (退院数含む)	53,601人	43,621人	患者延数	43,815人	44,731人
1日平均在院数	138.9人	112人	実働1日平均数 (救急外来患者含む)	146人	147人
平均在院日数	12日	13日	実働日数	295日	295日
病床稼働率%	61.6%	49.5%	外来平均単価	25,078円	25,189円
入院平均単価 (室料含む)	50,133円	56,701円			

(診療科別)

(単位：人)

入院患者延べ数 (退院数含まず)			外来患者延べ数 (救外患者含む)		
項目	令和5年度	令和4年度	項目	令和5年度	令和4年度
内科	3,497	3,917	内科	1,752	2,025
血液内科	10,937	11,525	血液内科	7,851	9,793
脳神経内科	0	0	脳神経内科	948	975
消化器科・外科	5,768	6,183	消化器科・外科	7,332	8,614
乳腺科	2,325	2,080	乳腺科	8,961	8,518
循環器科	0	0	循環器科	3,170	3,265
整形外科	2,395	1,053	整形外科	2,707	2,094
眼科	314	323	眼科	12	41
リハビリテーション科	13,563	11,975	リハビリテーション科	2,183	2,438
放射線科	145	53	放射線科	4,629	2,996
総合内科	2,943	3,716	総合内科	1,261	1,863
療養内科	8,862	0	療養内科	1,932	0
人間ドック	0	0	人間ドック	16,812	15,562
発熱外来	0	0	発熱外来	9	600
その他	0	0	その他	1,068	1,149
合計	50,749	40,825	合計	60,627	59,933

② 救急搬入患者

救急車による救急患者			その他の救急患者		
項目	令和5年度	令和4年度	項目	令和5年度	令和4年度
日勤帯搬入患者	735人	599人	日勤帯	2,024人	2,609人
夜間帯搬入患者	489人	469人	夜間帯	682人	841人

救急車台数	1,224 台	1,068 台			
-------	---------	---------	--	--	--

1 日平均救急外来患者数	令和 5 年度	令和 4 年度
	10.7 人	12.3 人

③ 手術件数 * () 内は手術室の共同利用の再掲 (単位: 件)

診療科	令和 5 年度	令和 4 年度
消化器科	158	150
整形外科	109 (35)	78 (35)
乳腺科	207	170
眼科	315	340
合計	789 (35)	738 (35)

④ 紹介・逆紹介患者数

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度
紹介患者数 (初診患者)	5,478 人	5,420 人
紹介率	84.9%	51.5%
診療情報提供書	2,842 枚	2,850 枚
逆紹介率	91.7%	58.3%

⑤ 画像検査件数 * () 内は画像検査機器の共同利用の再掲 (単位: 件)

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度
MRI 検査	4,261 (2,300)	4,283 (2,438)
CT 検査	6,550 (922)	6,161 (905)
RI 検査	131 (0)	110 (0)

⑥ 放射線治療件数 (単位: 件)

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度
治療計画実数	168	84

(部位別治療延件数) * () 内は院外紹介の治療延件数の再掲 (単位: 件)

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度
前立腺	1,461 (1,461)	639 (639)
骨転移	46	47
リンパ腫	180 (19)	149

乳房術後照射	1,872 (96)	629
腫瘍（骨盤）	31 (6)	72 (47)
腫瘍（腹部）	41	30 (11)
腫瘍（胸部）	121	36 (24)
腫瘍（四肢）	61 (51)	—
腫瘍（頭部）	59	—
腫瘍（頸部）	10	—
腫瘍脊柱	10	—
リンパ節転移	28 (28)	—
合計	3,920 (1,661)	1,602 (721)

⑦ 輸血療法・化学療法・移植

(単位：件)

項目	令和5年度	令和4年度
輸血療法	662	631
化学療法	1,513	1,611
移植	0	3

⑧ 内視鏡検査

(単位：件)

項目	令和5年度	令和4年度
上部消化管内視鏡	5,475	5,368
下部消化管内視鏡	997	975

⑨ リハビリテーション患者数

項目		令和5年度		令和4年度	
		単位数	患者数	単位数	患者数
入院	急性期	30,502	1,572	26,468	1,713
	回復期	86,280	653	67,895	572
	療養病棟	3,427	324	0	0
外来		6,738	1,488	5,846	1,234

⑩ 予防健診受診延べ数

(単位：人)

項目	令和5年度	令和4年度
日帰りドック	2,457	2,541
住民検診	3,880	3,909
臓器別検診	1,148	1,019

その他の検診	3,574	3,503
協会けんぽ健診	3,260	3,228

(3) 施設概要

- ① 所在地 〒960-0502 伊達市箱崎字東 23 番地 1
TEL 024-551-0551 FAX 024-551-0808
- ② 標榜科目 (16 科) 内科 脳神経内科 血液内科 内科・リウマチ科 糖尿病・内分泌内科
消化器内科 消化器外科 循環器内科 外科 乳腺外科 整形外科
婦人科 眼科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科
- ③ 開設年月日 平成 14 年 12 月 1 日
- ④ 院長 松本 進
- ⑤ 病床数 225 床 (一般病棟 120 床、回復期リハビリテーション病 55 床、療養病棟 50 床)
- ⑥ 構造及び面積 S 造・1 階一部 RC 造 19,248.75 m²
- ⑦ 敷地面積 35,142 平方メートル
- ⑧ 職員数 331 名 (常勤換算)
- ⑨ 施設基準等

・認定施設

健康保険法指定保険医療機関	国民健康保険指定保険医療機関
地域医療支援病院認定施設	DPC 対象病院
臨床研修病院 (協力型)	労災保険指定医療機関
地域リハビリテーション相談センター	母体保護法指定医療機関
生活保護法指定医療機関	海外渡航者予防接種実施機関
結核予防法指定医療機関	日本臍帯血ネットワーク「移植医療機関登録」
救急告示病院 (二次)	開放型病院認定
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関	臨床修練指定病院

・予防医学の指定

日本病院協会指定人間ドック機関	全日本病院協会指定人間ドック機関
伊達市、国見・桑折町施設検診医療機関	全国健康保険協会生活習慣病予防健診実施機関
労災保険二次健診等給付医療機関	特定健診・特定保健指導実施医療機関

・届出事項

(基本診療科)

急性期一般入院料 2	データ提出加算 2-イ
療養病棟入院料 2	患者サポート体制充実加算
看護職員配置加算	診療録管理体制加算 1
看護補助者配置加算	回復期リハビリテーション病棟入院料 1

療養環境加算
急性期看護補助体制加算 夜間 100 対 1
無菌治療室管理加算 1
医療安全対策加算 1
医療安全地域連携加算 1
医師事務作業補助体制加算 (2) 20 対 1
せん妄ハイリスク患者ケア加算
感染対策向上加算 1
感染対策向上加算 指導強化加算

体制強化加算
栄養サポートチーム加算
重症者等療養環境特別加算
急性期看護補助体制加算 25 対 1
救急医療管理加算
看護職員夜間配置加算 12 対 1 配置加算 1
入退院支援加算 1
看護職員処遇改善評価料 37

(特掲診療科)

開放型病院共同指導料
がん患者リハビリテーション料
がん治療連携指導料
画像診断管理加算 2
医療機器安全管理料 1
検体検査管理加算 (Ⅱ)
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)
冠動脈 CT 撮影加算
心臓 MRI 撮影加算
乳房 MRI 撮影加算
脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅰ) 初期加算
呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ) 初期加算
運動器リハビリテーション料 (Ⅰ) 初期加算
外来放射線治療加算
一回線量増加加算 (全乳房照射・前立腺)
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
がん患者指導管理料イ
二次性骨折予防継続管理料 1
二次性骨折予防継続管理料 3
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算 2

薬剤管理指導料
外来腫瘍化学療法診療科 1
外来化学療法加算 1
CT 撮影及び MRI 撮影
医療機器安全管理料 2
高エネルギー放射線治療
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
MRI3 テスラ以上施設共同利用
64 列以上マルチスライス CT 施設共同利用
画像誘導放射線治療加算 (IGRT)
外来リハビリテーション診療料
在宅患者訪問看護・指導料
放射線治療専任加算
定位放射線治療 (体幹部に対して行う場合)
人工肛門・人工膀胱造設術前処理加算
BRCA1/2 遺伝子検査
がん患者指導管理料ロ
二次性骨折予防継続管理料 2
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
無菌製剤処理料

・学会認定施設

日本血液学会認定血液研修施設
日本乳癌学会認定施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設

日本老年医学会認定施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本感染症学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会・NST 稼働施設
薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設

(4) DPC 係数

基礎係数 1.0395 + 激変緩和係数 0 + 機能評価係数 I 0.3083 + 機能評価係数 II 0.0858 = 1.4336

【機能評価係数 I】 合計 0.3083

①	入院基本料 10 対 1	0.0890
②	地域医療支援病院入院診療加算	0.0306
③	臨床研修病院入院診療加算 2 協力型	0.0000
④	急性看護補助加算 (25 対 1 看護補助者)	0.0559
⑤	急性期看護補助加算 (夜間 100 対 1)	0.0432
⑥	医療安全体制加算 1	0.003
⑦	医療安全地域対策加算 1	0.0017
⑧	データ提出加算 2-イ	0.0052
⑨	提出データ評価加算	0.0000
⑩	検体検査管理加算 II	0.0026
⑪	診療録管理加算	0.0031
⑫	医師事務作業補助加算 1 (20 対 1)	0.0291
⑬	後発医薬品使用体制加算 1	0.0014
⑭	看護職員夜間配置加算 1 (12 対 1)	0.0178
⑮	感染対策向上加算 1	0.0247
⑯	感染対策向上加算 指導強化加算	0.001

【機能評価係数 II】 合計 0.0858

①	保険診療係数	0.01762
②	効率性係数	0.01497
③	複雑性係数	0.03415
④	カバー率係数	0.00571
⑤	救急医療係数	0.00621
⑥	地域医療係数	0.00712

2 保原中央クリニック（令和6年3月31日現在）

(1) 事業報告

新型コロナウイルス感染症は感染者が減少、令和5年5月に5類に移行し、社会的にも落ち着きが見られました。ワクチン接種や、集団接種への職員派遣などは終了しましたが、発熱など風邪症状のある患者さんの対応と院内感染対策は、これまで通り継続しています。

家庭医療科は、年々増加する外来患者に対応し、在宅患者の訪問回数を減らすことなく十分な診療を行っております。また、臨床研修医も6名を受け入れており育成を行っております。

設備の老朽化に伴い、診察室を4階から2階に移動し診療を行いましたが、スタッフ間での連絡体制を密に行い、外来患者の診察時の負担は最低限に抑えることが出来ました。

8月には梁川病院閉院に伴う紹介患者の受け入れ、送迎の引継ぎ、スタッフの異動と大きな変化がありました。個別送迎とシャトルバスの体制を一新した送迎業務は、広報不足で患者さんにご迷惑をお掛けすることがあったものの、その後は順調に運営しています。

地域の人口減少や、新型コロナ感染症による診察控えなどが原因で、患者数は昨年比よりも若干減少していますが、複数科を要する診療所として地域のニーズに応え、北福島医療センター新築移転計画も見据え、患者さんに安心して受診していただける環境を提供していきたいと思っております。

(2) 診療実績

① 外来の概要

項目	令和5年度	令和4年度
外来患者延数	59,889人	60,705人
実働1日平均数	203.7人	205.9人
実働日数	294日	295日
新患者数	335人	272人

(診療科別)

(単位：人)

項目	令和5年度	令和4年度
内科・脳神経内科	28,424	28,191
整形外科	7,734	8,378
心臓血管外科	633	715
婦人科	3,536	3,642
眼科	13,973	14,808
皮膚科	1,530	1,459
耳鼻咽喉科	3,309	2,988
電離検診、健康診断	596	524
合計	59,889	60,705

② 訪問診療延べ数 (単位:人)

診療科	令和5年度	令和4年度
家庭医療科	1,462	1,173

③ 紹介患者数 (単位:人)

診療科	令和5年度	令和4年度
紹介患者数	622	606

(3) 施設概要

- ① 所在地 〒960-0611 伊達市保原町字城ノ内7-3番地1
TEL 024-575-3231 FAX 024-575-3233
- ② 標榜科目 内科 整形外科 心臓血管外科 皮膚科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
(7科)
- ③ 開設年月日 平成14年12月1日
- ④ 管理者 院長 菊池重幸
- ⑤ 構造及び面積 鉄筋コンクリート 7,559.54 m²
- ⑥ 敷地面積 6,593.2 m²
- ⑦ 職員数 37.8名 (常勤換算)
- ⑧ 施設基準等

・認定施設

健康保険法指定保険医療機関	国民健康保険指定保険医療機関
労災保険指定医療機関	生活保護法指定医療機関
母体保護法指定医療機関	結核予防法指定医療機関
海外渡航者予防接種実施機関	原子爆弾被爆者一般医療取扱機関
在宅酸素施設認定	子宮癌施設検診医療機関

・届出事項

在宅時医学総合管理料 (強化型)	検体検査管理加算 (I)
ニコチン依存症管理料	在宅療養支援診療所
コンタクトレンズ検査料1	在宅末期医療総合診療料
がん性疼痛緩和指導管理料	外来感染対策向上加算
夜間・早朝等加算	がん治療連携指導料
明細書発行体制加算	電子化加算

3 梁川病院（令和6年3月31日現在）

(1) 事業報告

東日本大震災の混乱の中、平成23年10月1日に伊達市から市立梁川病院は移譲され梁川病院が開院しました。国の施策により、令和5年度末で介護療養型病床が廃止されるのに伴い、令和5年1月には50床すべてを医療療養型病床に転換しました。仁泉会の関連施設としてとして12年近く地域医療の火を消さないように尽力してまいりましたが、制度の転換を含めた医療情勢の変化、建物自体の耐震性や老朽化等の問題から、令和5年7月31日にて閉院となり、8月1日より北福島医療センターに機能統合されました。

それまで通院されていた患者さんの送迎は、出来るだけ継続出来るように整備しましたが、移動距離が長くなったことでご不便をお掛けしたり、他の医療機関にご紹介になった方もおります。患者さんを快く受け入れてくださった関係各所の皆さまにも心から御礼申し上げます。

北福島医療センターでは、「療養内科」として、これまで同様2名の医師とスタッフが外来診療を継続、入院も「あおば病棟」にて医療療養型病床50床を慢性期病床として確保しています。

梁川病院の閉院により、患者さんをはじめ、皆さまにもご不便やご迷惑をお掛けしましたが、ますます少子高齢化社会を迎えるにあたり、県北地区の医療再編という流れをご理解いただければと思います。

最後に、これまでの皆さま方の温かいご支援に感謝申し上げます。

(2) 診療実績

① 入院・外来の概要

入院概要			外来概要		
項目	令和5年度	令和4年度	項目	令和5年度	令和4年度
入院患者延数 (退院数含む)	3,849人	13,186人	外来患者延数	9,506人	9,506人
1日平均在院数	31.5人	36.1人	実働1日平均数	32.2人	32.2人
			実働日数	295日	295日
			新患者数	93人	93人

② リハビリテーション延べ件数

(単位:件)

項目		令和5年度	令和4年度	
外来	運動器リハビリ	72	414	
	脳血管疾患等リハビリ(Ⅱ)・(Ⅲ)	0	0	
	消炎鎮痛	0	1	
入院	介護	理学療法(Ⅰ)	0	1,735
		短期集中リハビリ	0	69
	医療	運動器リハビリ(Ⅰ)	30	414
		脳血管疾患等リハビリ(Ⅱ)・(Ⅲ)	482	722

	廃用症候群リハビリ（Ⅱ）・（Ⅲ）	1,153	3,185
通所リハビリ（予防通所リハビリを含む）		1,298	3,647
訪問リハビリ		80	529

(3) 施設概況

- ① 所在地等 〒960-0776 伊達市梁川町字東土橋8番地
TEL 024-577-2155 FAX 024-577-1891
- ② 標榜科目 内科 外科 整形外科 リハビリテーション科
- ③ 開設年月 平成23年10月1日
- ④ 管理者名 院長 今野 明
- ⑤ 病床数 50床（医療療養病床50床）
- ⑥ 構造及び面積 鉄筋コンクリート造 1,771.07㎡
木造亜鉛メッキ銅板葺2階建 3,587.64㎡
- ⑦ 敷地面積 8,848.86㎡
- ⑧ 職員数 40.1名（常勤換算）※令和5年7月31日現在
- ⑨ 施設基準等

・認定施設

健康保険法指定保険医療機関 生活保護法指定医療機関（医療・介護）
国民健康保険指定保険医療機関 労災保険指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関
特定疾患治療研究事業指定医療機関
指定（介護予防）通所リハビリテーション（通常規模の事業所）
指定（介護予防）訪問リハビリテーション

・届出事項

療養病棟入院基本料 2 感染対策向上加算 3
看護補助体制充実加算 診療録管理体制加算 2
療養病棟療養環境加算 2 医療安全対策加算 2
データ提出加算 1・3ロ
入院時食事療養/生活療養（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
廃用症候群リハビリテーション科（Ⅱ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
通所リハビリテーション（介護予防）各種加算
訪問リハビリテーション（介護予防）各種加算

4 プライムケア桃花林（令和6年3月31日現在）

(1) 事業報告

令和5年度においても超強化型の施設基準を維持しながらの運営を行い、地域における在宅復帰支援施設の役割を担うことができました。更なる質の向上を目指し、訪問目標を50%に設定して取り組みましたが、算定要件の30%はクリアできたものの、30.6%に留まり目標に及びませんでした。

原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大における行動の縮小がありました。また、看取りケアに関しても6件に留まり、目標の10件以上を達成することができませんでした。看取りケアに関しては、利用開始時の案内と利用開始後の案内に関する手順が不明瞭なままであり、業務改善が十分に図れなかったことが反省点として挙げられます。これらの反省点を踏まえ、次年度の課題として取り組んでまいります。

未算定加算の取得に向けての取り組みは、令和5年度の段階で令和6年4月の報酬改定情報が入り、リハビリテーションに関する加算の算定要件が大きく見直される見込みとなったため、結果的には算定に結びつけることができませんでした。未算定加算の取得は令和6年の報酬改定を踏まえ、確実に算定できるよう取り組んでまいります。

デイケアの利用率は51.4%となり、目標利用率の67%に及びませんでした。施設内で新型コロナウイルス感染症の利用者の療養を行うために、通所部門のサービス提供を縮小し、入所部門においても受け入れを制限せざるを得ない状況になったことが要因として考えられます。これに対応するためにサービス継続を図れるBCPの制定と感染対策の見直しを図ってまいります。

短時間リハビリテーションに関しては、梁川病院閉院に伴う短時間リハビリテーション利用者の受け皿になるべく、8月より定員数を拡大し再スタートすることができました。現在は、今までの伊達・保原地区に追加して梁川地区の方にも利用いただいています。

令和6年4月には3年に一度の介護報酬改定も控えており、より質の高いサービス提供と地域における老健機能の役割（地域貢献としての講習会や認知症カフェの開催）を引き続き担うべく取り組んでまいります。

(2) 利用者実績

① 入所・退所の概要

入所概要			通所概要		
項目	令和5年度	令和4年度	項目	令和5年度	令和4年度
入所者延数 (退所数含む)	51,899人	51,076人	通所者延数	17,293人	12,751人
1日平均在所数	141.8人	139.9人	1日平均通所数	47.2人	34.9人
利用率%	94.5%	93.3%	利用率%	55.8%	49.9%
在宅復帰率%	66.3%	64.3%			

② 経路別入所・退所

(単位：件)

経路別入所			経路別退所		
項目	令和5年度	令和4年度	項目	令和5年度	令和4年度
自宅	2,204	2,288	自宅	2,205	2,261
医療機関	143	181	医療機関	78	118
介護施設	11	8	介護施設	65	62
			死亡(看取り)	6	13
その他	6	10	その他	2	0

③ 在宅復帰・在宅療養支援等の状況

	令和5年度	令和4年度
在宅復帰率	66.0%	64.3%
ベッド回転率	32.2%	41.0%
入所前後訪問指導割合	31.2%	40.4%
退所前後訪問指導割合	30.0%	40.7%
居宅サービスの実施数	2サービス	2サービス
リハビリ専門職の配置割合	6.4人	6.5人
支援相談員の配置割合	3.2人	3.5人
要介護4又は5の割合	56.4%	49.1%
喀痰吸引の実施割合	2.9%	0.8%
経管栄養の実施割合	1.8%	2.3%

④ 医療ケアに関する加算状況

	令和5年度	令和4年度
ターミナルケア加算	7件	13件
所定疾患施設療養費	332日	113日
重度療養管理加算	787日	892日

(3) 施設概況

- ① 所在地等 〒960-0665 伊達市保原町字岡代9番地1
TEL 024-575-0750 FAX 024-575-0962
- ② 開設年月日 平成4年11月9日
- ③ 管理者名 施設長 石井 証
- ④ 定床数 入所 150名(うち認知症専門50名)
通所 92名(7単位)
- ⑤ 構造及び面積 鉄筋コンクリート及び鉄骨造 5,952.26㎡

- ⑥ 敷地面積 17,211.97 m²
- ⑦ 職員数 134.1名 (常勤換算)
- ⑧ 施設基準等

- ・認定施設

- 介護老人保健施設

- (予防) 短期入所療養介護

- (予防) 通所リハビリテーション事業

- 生活保護法指定介護機関

- 伊達市福祉避難所

5 あぶくま訪問看護ステーション（令和6年3月31日現在）

(1) 事業報告

事業所統合を経て職員間の情報共有は密になり、各関係機関と連携を図りながら利用者様や他事業所から信頼されるサービス提供を行いました。また、訪問エリアの拡大により移動距離が増えたことから、職員の負担軽減のために訪問ルートを見直し移動時間を短縮するなどの対策を行っている所です。

伊達郡内において、訪問看護ステーションの開設が相次ぎ、桑折・国見方面の新規利用者は減少しつつも、伊達・保原・梁川方面からの依頼が多くあり、昨年の訪問件数の実績を維持している状況です。また、長期休暇職員の復帰や非常勤職員2名の入職で、新規依頼を受ける体制を整えています。

24時間体制においては、職員一人当たり月8回の当番制で臨時訪問に対応しており、ターミナル期の利用者も多いなかで、不安軽減などの対処で安心・安全のサービス提供を行っています。

訪問リハビリは、梁川病院閉院に伴い梁川方面の利用者を受け入れ、訪問範囲が拡大したことと、育児休暇で職員が減少し新規受け入れが難しい状況もありましたが、シフト調整で対応し訪問件数は増加しました。

特定行為認定看護師の育成については、現在研修中であり研修が終了する令和6年度には完了予定となっております。

BCPを制定し、今後は運用する中で見直しを行いながら実効性のあるものにするよう計画しております。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も感染対策を徹底したことで、職員の感染はありませんでした。また、連日アルコール検知器で酒気帯び運転管理を徹底しています。しかし、訪問移動時の公用車による接触事故が数件あり、安全運転の徹底が今後の課題です。

引き続き信頼される事業所となれるよう邁進してまいります。

(2) 利用者実績

項目	令和5年度
訪問看護延べ数	13,758人
訪問リハビリ延べ数	6,857人

(3) 施設概況

- ① 所在地等 〒960-0684 伊達市保原町上保原字大地内39番地4
TEL 024-575-0001 FAX 024-575-0003
- ② 管理者名 所長 丸山悦子
- ③ 開設日等 平成8年5月1日
サービス科目 訪問看護
- ④ 職員数 24.7名（常勤換算）
- ⑤ 施設基準等
・認定施設

国民健康保険指定保険医療機関
指定訪問看護事業
生活保護法指定医療機関
24時間対応体制
特定自立支援医療機関（精神通院医療）

健康保険法指定保険医療機関
指定老人訪問看護事業
特定疾患治療研究事業指定医療機関
遷延性意識障害治療研究事業指定医療機関
訪問リハビリ・ステーション指定機関

6 あぶくまヘルパーステーション（令和6年3月31日現在）

(1) 事業報告

本年度は昨年度と比較して、利用者の入院や入所が多くあり、訪問件数が減少しました。しかし、令和5年3月より特定事業所加算を算定し、介護度が高い利用者等にも積極的に介護サービスを提供していること、事業所の統合によりスタッフが増加したことにより、朝夕や週末の訪問対応を可能にしました。さらに、12月末からは近隣の居宅支援事業所に空き状況を伝え、利用者の獲得に努めています。引き続き、ご利用者・ご家族・関係機関の皆様に信頼される事業所を目指してまいります。

(2) 利用者実績

項目	令和5年度
訪問介護延べ数	9,828人

(3) 施設概況

- ① 所在地等 〒960-0684 伊達市保原町上保原字大地内 39 番地 4
TEL 024-575-2826 FAX 024-575-0003
- ② 管理者名 所長 馬場真知子
- ③ 開設日等 平成 12 年 4 月 1 日
サービス科目 訪問介護
- ④ 職員数 7.1 名（常勤換算）
- ⑤ 施設基準等
・認定施設
指定居宅サービス事業（訪問介護）
指定介護予防サービス事業
生活保護法指定機関

7 あぶくまケアプランステーション（令和6年3月31日現在）

（1）事業報告

令和4年10月に法人内の居宅介護支援事業所の統合を行ってから2年目となりました。常勤6名と非常勤2名の8名で、利用者のより良い在宅生活の支援を目的に、事業所内外の研修や事例検討会、ケアマネジメント業務を見せて学ばせる実習生への指導など、職員の資質向上を行うことで、急を要する新規相談にも管理者を含む他5名の主任介護支援専門員が相談窓口として機能し、適時にケアプラン作成を提供することができました。

また、委託業務の要支援認定者の予防プラン作成と、認定調査業務も予定数を維持することができました。

当年度末に2名の退職者がありましたが、相談機能の維持のため人員確保に努めてまいります。

（2）利用者実績

項目	令和5年度
居宅介護支援計画実数	3,230件

（3）施設概況

- ① 所在地等 〒960-0684 伊達市保原町上保原字大地内 39 番地 4
TEL 024-575-0707 FAX 024-575-0606
- ② 開設日 平成 12 年 4 月 1 日
- ③ 管理者名 所長 加藤京子
- ④ 職員数 8.2 名（常勤換算）
- ⑤ 施設基準等
 - ・ 認定施設
 - 指定居宅介護支援事業
 - 生活保護法指定機関

8 伊達市保原地域包括支援センター（伊達市より委託）（令和6年3月31日現在）

(1) 事業報告

高齢一人暮らし・二人暮らしの継続的訪問活動と、民生児童委員、地域自治組織への活動を通し、心と体の働きが低下した状態（フレイル状態）の予防・改善のための業務を進め、介護予防拠点としての役割の周知を図ることができました。また、そこで把握された世帯員の減少に伴う医療・介護の課題について地域での取り組み課題として共有しました。

さらに、年齢や、障がいの有無等で支援を分けない総合相談支援業務については、行政機関との連携により制度の狭間をつくらない相談体制の共有を行い、相談件数の増加に結びつきました。

地域住民・介護医療関係機関・生活支援サービス機関との協働による権利擁護業務については認知症への正しい理解を広げ、認知症になっても自分らしく暮らし続けられる地域をつくるため、「チームオレンジほばら」としての活動を可能とする土台をつくることができました。

(2) 利用者実績

(単位：件)

項目	令和5年度	令和4年度
相談実件数	4,008	3,934
介護予防支援計画作成者実数	2,404	2,535

(3) 施設概況

- ① 所在地等 〒960-0684 伊達市保原町上保原字大地内 39 番地 4
TEL 024-574-4774 FAX 024-574-4811
- ② 開設日 平成 18 年 4 月 1 日
- ③ 管理者名 所長 森 美樹
- ④ 職員数 5.8 名（常勤換算）
- ⑤ 施設基準等
 - ・ 認定施設
 - 介護予防支援事業
 - 生活保護法指定機関

III 参 考 资 料

1 法人概要(令和6年3月31日現在)

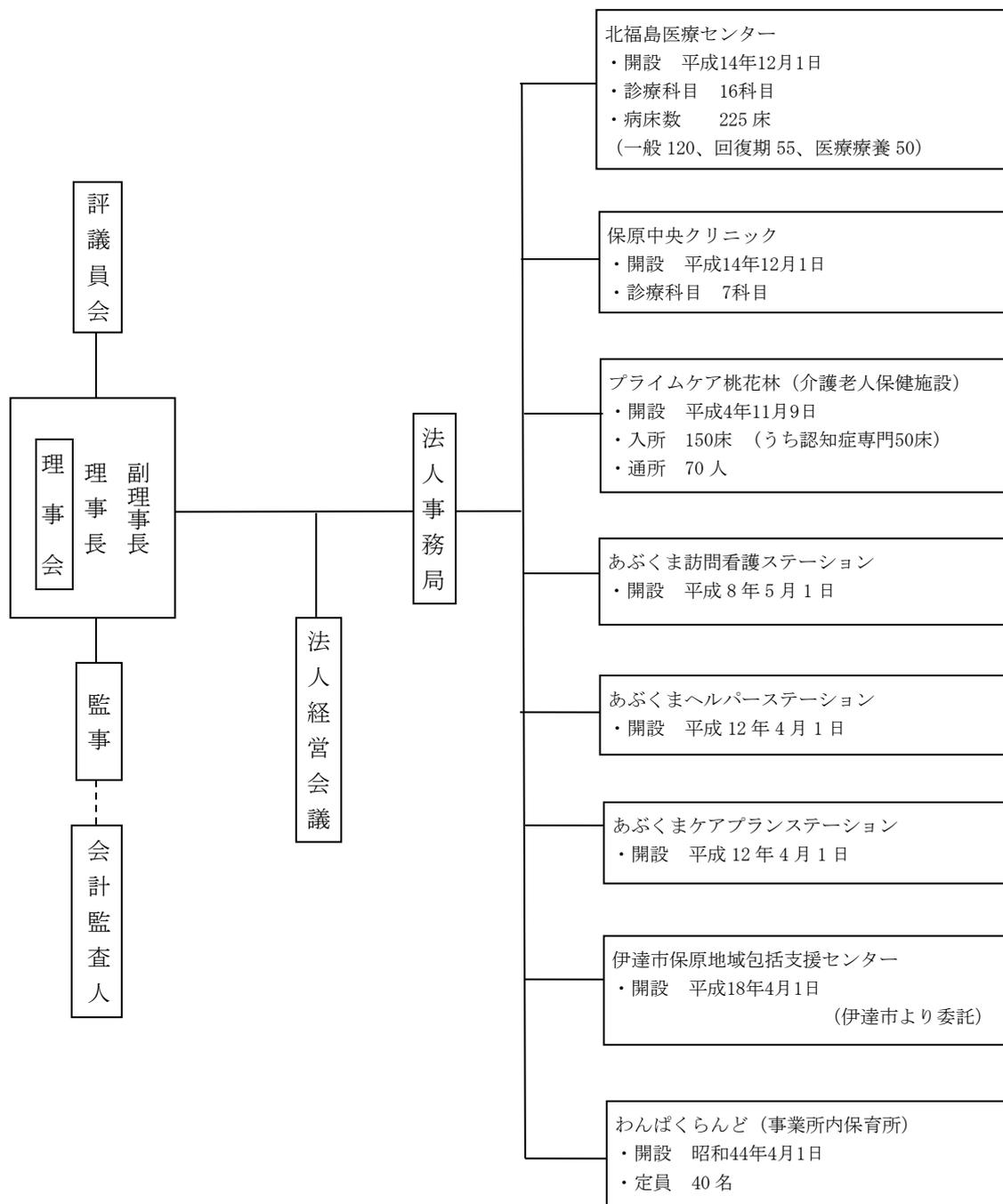
- (1) 法人名 公益財団法人 仁泉会
- (2) 代表理事名 木村 秀夫
- (3) 法人住所 〒960-0596 福島県伊達市箱崎字東 23 番地 1
- (4) 公益目的事業 医療および介護を提供する活動、疾病予防活動及び健康増進に関する啓蒙活動を行い、地域住民の健康保持増進に寄与する事業
- (5) 開設日 昭和 59 年 4 月 1 日 (公益財団法人認定 平成 23 年 8 月 1 日)
- (6) 運営施設 北福島医療センター (地域医療支援病院)
保原中央クリニック (外来専門)
梁川病院 (療養型医療施設) (令和 5 年 7 月 31 日閉院)
プライムケア桃花林 (介護老人保健施設)
あぶくま訪問看護ステーション
あぶくまヘルパーステーション
あぶくまケアプランステーション
伊達市保原地域包括支援センター (伊達市より委託)
わんぱくらんど (事業所内保育所) (令和 6 年 3 月 31 日閉所)
- (7) 職員数 571.0 名 (令和 6 年 3 月 31 日現在 常勤換算)

2 沿革

昭和 30 年	12 月 15 日	伊達郡保原町字栄町に さとう医院 (12 床) 開設
34 年	12 月	伊達郡保原町字古町に さとう医院 新築移転 (19 床)
41 年	2 月	伊達郡保原町字城ノ内に保原中央病院 移転 開設 (40 床)
44 年	4 月	院内保育所開設
47 年	9 月	独身寮、社宅の完成 (保原町字古町)
48 年	4 月	医療法人保原中央病院設立 (111 床)
50 年	9 月	医療法人好仁会設立
51 年	3 月	本館増築 保原中央病院 (70 床)
		増築に伴い、旧保原中央病院 (111 床) を保原第一病院として開設
53 年	11 月	保原中央病院、保原第一病院合併 (181 床)
59 年	4 月 1 日	財団法人仁泉会医学研究所設立
	12 月 28 日	保原中央病院増改築工事完成 (252 床)
61 年	4 月 1 日	総合病院認可 総合保原中央病院
	9 月 1 日	巡回診療所開設
62 年	9 月 1 日	動物実験研究棟の完成
平成 2 年	2 月 1 日	院内保育所わんぱくらんど移転
		運動療法研究センター開設 (旧保育所)
3 年	12 月 1 日	セントクリニック開設 (19 床)
4 年	11 月 9 日	老人保健施設プライムケア桃花林開設 (100 床)
	11 月 10 日	ほばら訪問看護ステーション開設
7 年	4 月 20 日	保原町在宅介護支援センター受託開始
	6 月 1 日	総合保原中央病院附属みなみクリニック開設
8 年	5 月 1 日	あぶくま訪問看護ステーション開設
10 年	4 月 13 日	老人保健施設プライムケア桃花林認知症専門棟増築 (150 床)
12 年	4 月 1 日	保原指定居宅介護支援事業所開設
		保原訪問看護ステーションをほばら訪問看護ステーションに改名
		ほばらヘルパーステーション開設
		ほばら訪看指定居宅介護支援事業所開設
		あぶくまヘルパーステーション開設
		あぶくま訪看指定居宅介護支援事業所開設
12 年	4 月 25 日	財団法人仁泉会医学研究所評議員会設置
14 年	12 月 1 日	北福島医療センター開設 (226 床)
		総合保原中央病院を閉院し、保原中央クリニック開設
15 年	5 月 1 日	みなみクリニックを閉院し、保原中央クリニックに統合
18 年	4 月 1 日	町村合併に伴い、伊達市保原地域包括支援センターとして受託開始

- 20年 5月 28日 家庭医療科を保原中央クリニックに開設
(福島県立医科大学 地域・家庭医療部による家庭医を育成する家庭医療学センターを併設)
- 21年 6月 1日 北福島医療センター放射線治療センター増築
- 23年 8月 1日 公益財団法人認定 公益財団法人仁泉会となる
- 23年 10月 1日 梁川病院開設
- 30年 7月 20日 ホームホスピスマほろば開設
- 令和2年 3月 31日 セイントクリニック閉院
- 3月 31日 ホームホスピスマほろば閉所
- 10月 1日 福島県立医科大学寄附講座「総合内科・臨床感染症学講座」開設
- 3年 9月 1日 北福島医療センター内にリケッチア症研究所開設
- 12月 1日 梁川病院 介護療養病床50床のうち20床を医療療養病床に転換
- 4年 10月 1日 ほばら訪問看護ステーションをあぶくま訪問看護ステーションに統合
ほばらヘルパーステーションをあぶくまヘルパーステーションに統合
あぶくま訪看指定居宅介護支援事業所、ほばら訪看指定居宅介護支援事業所、
保原指定居宅介護支援事業所を統合し、あぶくまケアプランステーションと
改名
- 4年 10月 1日 あぶくま訪問看護ステーション、あぶくまヘルパーステーション、あぶくま
ケアプランステーション、伊達市保原地域包括支援センター(伊達市より委託)の4事業所を旧セイントクリニックに移転
- 5年 2月 1日 梁川病院 介護療養病床30床を医療療養病床に転換
50床すべて医療療養病床として算定開始
- 5年 7月 31日 梁川病院閉院
- 5年 8月 1日 梁川病院 医療療養病床50床を北福島医療センターへ統合
北福島医療センターの病床数226床を225床へ再編
- 6年 3月 31日 事業所内保育所「わんぱくらんど」閉所

3 組織図（令和6年3月31日現在）



4 評議員・役員・会計監査人の状況（就任順・生年月日順）令和6年3月31日現在

(1) 評議員（8名）

氏名	職業・職歴など	就任日
中野 新一	福島産業保健総合支援センター 所長 医療法人敬仁会なかのクリニック 理事長	平成23年8月1日
庄司 光男	公立藤田総合病院 名誉院長	平成23年8月1日
渡辺 艶子	前公益社団法人福島明星厚生学院 福島看護専門学校 校長	平成23年8月1日
佐藤 和子	有限会社佐平 取締役 チャイルドラインふくしま 監事	平成23年8月1日
佐藤 敏信	元 厚生労働省健康局長 久留米大学特命教授	平成29年6月27日
数又 清市	ふくしま未来農業協同組合 代表理事組合長	令和元年6月25日
佐藤 正	一般社団法人伊達医師会 会長 医療法人すずき医院 理事長	令和4年6月28日
長沢 弘美	伊達市健康福祉部長兼福祉事務所長	令和5年6月27日

(2) 理事（12名）

氏名	職業・職歴など	就任日
木村 秀夫	理事長	平成23年8月1日
菊池 重幸	保原中央クリニック 院長	平成16年6月1日
今野 明	元梁川病院 院長	平成25年3月22日
石井 祐聖	福巖寺 住職	平成25年3月22日
秋山 時夫	前公立小野町地方総合病院企業団企業長	平成26年6月26日
志賀 隆	北福島医療センター 名誉院長	平成28年6月28日
佐藤 純啓	株式会社レパコ 代表取締役	平成28年6月28日
花田 昴	元福島民報社 代表取締役社長	平成30年6月29日
吉田 浩	北福島医療センター 顧問	平成30年6月29日
大槻 剛智	北福島医療センター リハビリテーションセンター長	平成30年6月29日
平野 典子	公益財団法人仁泉会 統括看護部長	令和3年3月29日
松本 進	北福島医療センター 院長	令和4年6月28日

(3) 監事（2名）

氏名	職業・職歴など	就任日
芳賀 裕	ロアフォルジュ司法書士事務所 所長	平成30年10月12日
大出 隆秀	大出隆秀公認会計士・税理士事務所 所長	平成30年10月12日

(4) 会計監査人（1名）

氏名	職業・職歴など	就任日
OAG 監査法人	OAG 監査法人 代表社員 今井基喜	平成30年11月5日

5 職員の状況

(1) 令和6年3月31日現在の在職状況（常勤換算）

職 種	人 数	職 種	人 数
医師	42.5	理学療法士	39
保健師	3.3	作業療法士	13.8
看護師	156.5	言語聴覚士	6
准看護師	23.8	リハビリ補助員	1
看護補助員	30.3	歯科衛生士	0.8
看護系 計	213.9	診療放射線技師	13.8
介護福祉士	64.6	医学物理士	1
介護士	9.5	薬剤師	8.1
介護系 計	74.1	薬剤補助員	0.9
事務員	61.9	臨床検査技師	11.4
クラーク	16.3	臨床工学技士	2
施設・環境整備員	18.8	検査補助員	1
事務系 計	97.0	管理栄養士	7
		栄養士	2
		調理補助員	9.9
		視能訓練士	3
		社会福祉士	6
		相談指導員	2.6
		介護支援専門員	9.2
		保育士	5
		医療技術系 計	143.5
		合 計	571.0

(2) 入退職者の状況（実人数）

入職者 正規職員 34名 パート職員 26名 合計 60名
 退職者 正規職員 45名 パート職員 25名 合計 70名

(3) 令和5年度入職式の実施

期 日 令和5年4月1日
 場 所 北福島医療センター 講義室
 入職者 14名（看護師6名、理学療法士3名、作業療法士4名、言語聴覚士1名）

(4) 令和6年度新規採用予定者入職前説明会の実施

期 日 令和6年3月11日

場 所 北福島医療センター 講義室

参加者 新規採用予定者14名

(5) 職場環境の改善とメンタルヘルス不調を未然防止するための取組み(1次予防)

① ストレスチェックの実施

令和5年9月実施 回収率90.4%

② 職員のためのメンタルヘルス相談

4月から月1回実施 計12回

(6) 表彰等

福島県看護功労者 看護団体活動功労者表彰

令和5年10月29日 介護老人保健施設プライムケア桃花林 尾形みゆき

(7) 医療従事者(職員)育成のための支援活動

① 奨学金の貸与

奨 学 生 3名(看護師)

奨学金総額 1,800,000円

② 新入職員オリエンテーション

令和5年4月1日および3日の2日間 14名参加

以上



公益財団法人

仁泉会